博士（後期）課程

教科 No.	3P01	授業科目	研究領域研究指導	単位数	0	期間	前期・後期
担当教員	西田　浅野　綾田　小池　川嶋　日影　小島　鶴田　S.Fitzgerald　石原　赤松　渡辺信　法貴　金田　木村 出原　大西　中井　砥綿　高橋悟　中ハシ 松井　中原　小山田 辰巳　滝口　舟越　池上　堀口　藤本 小山　塚田　高井　叶　秋山陽　長谷川　重松　森野　山中　栗本　安井　笹井　内藤　ひろい　三橋　藤野 日下部　潮江　渡辺眞　定金　伊東　横田　井上　三木　加須屋　吉田　田島　礪波　宮本　高林　柏木 田畑　魚住　高橋成　藤原						

【研究の概要】

「研究領域研究指導」において、博士課程学生の各々に応じた指導スタッフが確立され、作品および博士論文を仕上げるために必要な研究支援がなされる。単位の修得とは無関係であるが、学生は適宜研究の進行状況を把握してもらいながら、指導や助言をうけることができる。そのために研究計画書と研究報告書の提出が義務づけられている。

また、とくに論文指導に関しては、指導教員ごとに面会時間が設けられるので、その時間に論文作成上のアドバイスをうけることができる。

指導スタッフは各学生ごとに、主任指導教員 1 名、副指導教員 2 名で構成される。

【担当教員とその分担内容】

1．日本画

＜西田教授　・浅野教授　・綾田教授　・小池准教授　・川嶋准教授　・日影准教授　・小島講師＞

日本画の技法と表現に関して、実技的に指導する。

2．油画

＜鶴田教授　・Fitzgerald 教授　・赤松教授　・石原准教授　・渡辺信准教授　・法貴准教授　・金田講師＞

油画 (壁画を含む) の技法と表現及び現代的美術表現に関して、実技的に指導する。

3．版画

＜木村教授＞ 版画の技法と表現、ことにスクリーン・プロセス及び写真を使用する表現に関して、実技的に指導する。

＜出原教授＞ 版画の技法と表現、ことにリトグラフ及びコンピューティング・プロセスに関して、実技的に指導する。

＜大西講師＞版画の技法と表現、ことに銅版画の諸技法及び混合技法を使用する表現に関して、実技的に指導する。

4．メディア・アート

＜中井教授＞ 芸術的媒体としての多様な表現メディア、ことに映像と言語、音、光等複合するメディアの表現に関して、実技的に指導する。

＜砥綿教授＞ 芸術媒体としての多様な表現メディア、ことに映像、コンピュータ等を中心としたメディアの技法と表現に関して、実技的に指導する。

＜高橋悟准教授＞ 芸術表現全般の今日的な諸問題を踏まえ、特に造形から空間へと開かれた表現としてのメディア・アートの制作を指導する。

5．彫刻

＜中ハシ教授　・松井准教授　・中原准教授　・小山田准教授＞

彫刻、ことに三次元的場における現代的な表現と技法に関して、実技的に指導する。

6．ビジュアルデザイン

＜辰巳教授＞ ビジュアルデザイン分野の中で、特にマーケティングの各プロセスにおけるさまざまなメディアに関し、実技と理論両面から指導する。

＜滝口准教授＞ ビジュアルデザイン分野の中で、特にファッション、テキスタイル、ディスプレイの各デザイン領域に関し、実技と理論両面から指導する。

＜舟越講師＞ビジュアルデザイン分野の中で、特にグラフィックデザイン、ビジュアルアイデンティティに関し、実技と理論両面から指導する。

7．環境デザイン

＜池上教授　・堀口教授　・藤本教授＞

持続可能な社会に向けた環境デザインのあり方に関して、その方法と意味を理論的かつ実技的に指導する。

8．プロダクトデザイン

＜小山教授　・塚田教授　・高井講師＞

産業や社会状況を踏まえたプロダクト･デザインのあり方に関して、その方法と意味を理論的かつ実技的に指導する。

９．陶磁器

＜叶教授＞＜秋山陽教授＞＜長谷川教授＞＜重松准教授＞＜森野講師＞

現代的な陶磁表現の研究を進めるために、実践的に指導する。

１０．漆工

＜山中教授＞ 漆工における技法と表現、特に木地制作に関して、実技的に指導する。

＜栗本准教授＞ 漆工における技法と表現、特に漆の造形性と加飾技法に関して、実技的に指導する。

＜安井准教授＞ 漆工における技法と表現、特に漆造形の可能性と乾漆技法に関して、実技的に指導する。

＜笹井講師＞ 漆工における技法と表現、特に螺漆に関して、実技的に指導する。

１１．染織

＜内藤教授＞ 染織における技法と表現、特に型染に関して、実技的に指導する。

＜ひろい教授＞ 染織における技法と表現、特に繊維素材と織や編などによる創作に関して、実技的に指導する。

＜三橋教授＞ 染織における技法と表現、特に蝋染に基盤を置いた創作に関して、実技的に指導する。

＜藤野准教授＞ 染織における技法と表現、特に織の技法を用いた創作に関して、実技的に指導する。

＜日下部准教授＞ 染織における技法と表現、特に型染に基盤を置いた創作に関して、実技的に指導する。

１２．産業工芸・意匠

＜内藤教授＞ 産業化を視野に入れた染織工芸品及び繊維製品のための意匠に関して、実技実技的に指導する。

＜山中教授＞ 産業化を視野に入れた漆芸、特に木工芸の意匠に関して、実技的に指導する。

＜叶教授＞ 産業化を視野に入れた陶芸の意匠全般に関して、実技的に指導する。

＜小山教授＞ 地域産業と連携するさまざまな生産品のデザイン計画の研究を指導する。

＜塚田教授＞ 地域産業及び地域伝統産業に関わってのデザイン開発・研究を指導する。

＜辰巳教授＞ さまざまな産品の商品企画から販売促進計画に至るマーケティングのプロセスに対し、デザインの視点から指導を行う。

１３．芸術学

＜潮江教授＞ 西洋美術史の研究を指導する。

＜渡辺眞教授＞ 芸術の記号的理論及び近現代のデザインを含む視覚造形活動全般の理論的研究を指導する。

＜定金教授＞ インドを中心とした東洋美術史及び日本美術史の研究を指導する。

＜伊東教授＞ 陶磁器工芸史の研究を指導する。

＜横田教授＞ 美術教育学、特に美術教育方法の理論研究及び美術・工芸教育の実践的研究を指導する。

＜三木教授＞ 人間学としての美術教育学の研究を指導する。

＜井上准教授＞ 現代美術、とりわけ環境や場所性と関わる造形の理論と制作研究を指導する。

＜加須屋准教授＞ 美学の立場から芸術文化現象の理論研究全般を指導する。

＜吉田准教授＞ 日本・中国・西洋を中心とする染織工芸史の比較美術史的研究を指導する。

＜田島准教授＞ 日本絵画史の研究を指導する。

＜礪波准教授＞ 日本彫刻史の研究を指導する。

１４．保存修復

＜宮本教授＞ 日本、東洋絵画の模写・復元・修復・保存の技法とその適正について、実技的に指導する。

＜高林講師＞ 保存科学の立場から、保存修復の科学的かつ理論的な考察を指導する。

１５．論文指導

＜渡辺眞教授＞＜定金教授＞＜伊東教授＞＜横田教授＞＜三木教授＞＜井上准教授＞＜加須屋准教授＞＜吉田准教授＞

＜田島准教授＞＜礪波准教授＞＜柏木教授＞＜田畑教授＞＜魚住教授＞＜高橋成教授＞＜藤原教授＞

教科 No.	3P02	授業科目	領域研究演習 (日本画)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	西田　浅野　綾田　小池　川嶋　日影　小島						

【授業概要】

日本画の実技と理論の研究を通して日本画の創作を研究する。伝統的基盤を踏まえ、技法及び理論面での高度の研鑽を積み、新たな日本画の創造をはかる。指導スタッフは各学生ごとに、主任指導教員 1 名、副指導教員 2 名で構成される。

【担当教員と分担内容】

＜西田教授＞ 日本画制作一般、並びに構図法、綿本 紙本膠彩技法を指導する。

＜浅野教授＞ 日本画制作一般、並びに構図法、紙本膠彩技法を指導する。

＜綾田教授＞ 日本画制作一般、並びに構図法、膠彩技法を指導する。

＜小池准教授＞ 日本画制作一般、並びに膠彩技法の展開について指導する。

＜川嶋准教授＞ 日本画制作一般、並びに膠彩技法の基礎について指導する。

＜日影准教授＞ 日本画制作一般、並びにマチエールによる表現技法について指導する。

＜小島講師＞岩彩画表現における，多元的可能性考察に基づく制作研究について指導する。

教科 No.	3P03	授業科目	領域研究演習 (油画)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	鶴田　Fitzgerald　石原　赤松　渡辺信　法貴　金田						

【授業概要】

油画を中心とした技法による実技と理論の研究を通して絵画の創作を研究する。絵画表現の理論研究とともに、目的に応じた絵画材料や基底材 (壁面を含む) の使用法について広汎かつ高度な研究を行い、新たな絵画世界の創造をはかる。

【担当教員と分担内容】

＜鶴田教授＞ 絵画を基盤に置いた作品制作を指導する。

＜ Fitzgerald 教授＞ 絵画を基盤に置いた作品制作を指導する。

＜赤松教授＞ 絵画 (壁画を含む) を基盤に置いた作品制作を指導する。

＜石原准教授＞ 絵画 (映像を含む) を基盤に置いた作品制作を指導する。

＜渡辺信准教授＞ 絵画を基盤に置いた作品制作を指導する。

＜法貴准教授＞絵画を基盤に置いた作品制作を指導する。

＜金田講師＞絵画（立体的表現を含む）を基盤に置いた作品制作を指導する。

教科 No.	3P04	授業科目	領域研究演習 (版画)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	木村　出原　大西						

【授業概要】

版画の諸技法と理論の研究を通して版画の創作を研究する。複数性と間接性の美術特有の表現方法の研究とともに、表現目的に応じた技法の広汎かつ高度の研究を行い、新たな「版画」表現の創造をはかる。

【担当教員と分担内容】

＜木村教授＞ 版画制作全般を指導するとともに、特に現代版画特有の映像と絵画の二極にわたる横断的、複合的表現に着目した作品制作を指導する。

＜出原教授＞ リトグラフ及び版画制作に関わるコンピューティング・プロセスを中心とする作品制作を指導する。

＜大西講師＞版画の技法と表現、ことに銅版画の諸技法及び混合技法を使用する表現の作品制作を指導する。

教科 No.	3P05	授業科目	領域研究演習 (メディア・アート)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	中井　砥綿　高橋悟						

【授業概要】

映像、コンピュータ、音響など多様な表現媒体を用いたメディア・アートの創作を研究する。表現媒体としての今日的なメディアそのものの理論的考察を踏まえつつ、芸術の根幹に拘る広汎かつ高度な研究を行い、新たな表現世界の創造をはかる。

【担当教員と分担内容】

＜中井教授＞ メディア・アートの広汎な可能性を踏まえつつ、映像と言語、音、光等複合する多様な制作研究を指導する。

＜砥綿教授＞ 映像、コンピュータ等を用いたメディア・アートの制作を指導する。

＜高橋悟准教授＞芸術表現全般の今日的な諸問題を踏まえ、特に造形から空間へと開かれた表現としてのメディア・アートの制作を指導する。

教科 No.	3P06	授業科目	領域研究演習 (彫刻)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	中ハシ　松井　中原　小山田						

【授業概要】

彫刻の実技と理論の考察を通して、彫刻の創造研究を行う。空間的、立体的表現に関する理論の研究とともに、表現意図に応じた素材、技術の広汎かつ高度の研究を行い、空間や立体に作用する諸要素も計測に入れて、新たな彫刻表現の創造をはかる。

【担当教員と分担内容】

＜中ハシ教授＞ 彫刻の特に制作における場所や時間をふまえ、歴史や文化との関係性の研究の中から、多角的な考察に基づく　制作研究を指導する。

＜松井准教授＞ 彫刻における複数の視点による空間の分節化と、それらを関係づける媒体の制作研究を指導する。

＜中原准教授＞ 現代の社会における芸術活動の “Another Model” についての彫刻領域及び脱領域的アプローチによる制作研究を指導する。

＜小山田准教授＞共有空間をキーワードに、様々な場の開発研究を指導する。

教科 No.	3P07	授業科目	領域研究演習 (ビジュアル・デザイン)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	辰巳　滝口　舟越						

【授業概要】

ビジュアルデザインに関する実技と理論の研究を行う。ビジュアルデザインは、グラフィックデザインを中心とし、ファッション、テキスタイル、ディスプレイ、ゲームなど多様なデザイン分野を包含する領域である。デザインの一分野に絞った研究テーマ、あるいは複数の分野を複合させた研究テーマに関し、新たな表現の創造に結びつく研究を行う。

【担当教員と分担内容】

＜辰巳教授＞ ブランドデザインの研究を踏まえ、ビジュアルデザインの制作・研究を指導する。

また蓄積コンテンツの活用研究を踏まえ、クロスメディア社会におけるデザインの位置づけについての視点からグラフィックデザインの制作・研究を指導する。

＜滝口准教授＞ ファッション・テキスタイル・ディスプレイデザインの研究を踏まえ、ビジュアルデザインの制作・研究を指導する。

＜舟越講師＞ビジュアルコミュニケーションという視点のもとに、ビジュアルデザインの制作・研究を指導する。

教科 No.	3P08	授業科目	領域研究演習 (環境デザイン)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	池上　堀口　藤本						

【授業概要】

環境デザインに関する実技と理論の研究を行う。社会、生活環境の現状と動向の理論的研究及び実証を行う。建築、都市計画、インテリア、ファニチュア等、ヴァーチャルな空間も含めた総合的な空間を対象とする。具体的に、環境設計の実践的研究として行う。

【担当教員と分担内容】

＜池上教授＞ 都市・地域についての考察を基盤に、建築計画を中心としたランドスケープ・デザイン、家具をも含む環境デザインの全般的な問題についての研究を指導する。

＜堀口教授＞ 建築デザイン、インテリア・デザイン、商環境デザインに関する計画・制作・歴史的展開についての研究を指導する。

＜藤本教授＞ 広域的な景観から、公共空間を中心とした身近なまちづくりまで、地域社会と結びついた環境デザインを人、経済、社会との関連についての研究を指導する。

教科 No.	3P09	授業科目	領域研究演習 (プロダクト・デザイン)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	小山　塚田　高井						

【授業概要】

プロダクト・デザインに関する実技と理論の研究を行う。生活環境に広範囲に存在する産業製品のデザインについての理論的研究を行うとともに、産業領域、公共領域、福祉領域、文化領域などの諸領域を対象としたデザインの実践的研究を行う。

【担当教員と分担内容】

＜小山教授＞ 産業製品が生活環境や文化に及ぼす影響を軸に、産業領域、公共領域、福祉領域、文化領域などの諸領域を対象としてプロダクト・デザインの全般にわたる研究を指導する。

＜塚田教授＞ 産業製品が生活環境や文化に及ぼす影響を軸に、産業領域、公共領域、福祉領域、文化領域などの諸領域を対象としてプロダクト・デザインの全般にわたる研究を指導する。

＜高井講師＞ 産業製品が生活環境や文化に及ぼす影響を軸に、産業領域、公共領域、福祉領域、文化領域などの諸領域を対象としてプロダクト・デザインの全般にわたる研究を指導する。

教科 No.	3P10	授業科目	領域研究演習 (陶磁器)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	叶　秋山陽　長谷川　重松　森野						

【授業概要】

陶磁素材による創作とその理論を研究する。伝統的な陶磁器制作の研究を踏まえ、新たな視点から広く陶磁素材を用いた表現の技法及び理論の研究を行い、現代における陶磁表現の可能性を探求する。

【担当教員と分担内容】

＜叶教授＞ 陶磁器の技法と表現に関して総合的に指導する。

＜秋山陽教授＞ 陶磁器の技法と表現に関して総合的に指導する。

＜長谷川教授＞ 陶磁器の技法と表現に関して総合的に指導する。

＜重松准教授＞ 陶磁器の技法と表現に関して総合的に指導する。

＜森野講師＞ 陶磁器の技法と表現に関して総合的に指導する。

教科 No.	3P11	授業科目	領域研究演習 (漆工)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	山中　栗本　安井　笹井						

【授業概要】

漆を素材とした創作とその理論を研究する。伝統的な漆工制作の研究を踏まえ、塗装方法の比較研究と広く漆を用いた表現の理論的研究を行い、現代的な漆芸作品の創作を行う。

【担当教員と分担内容】

＜山中教授＞ 漆と木を活かした造形制作を指導する。

＜栗本准教授＞ 漆の造形性と加飾技法に関して実技的に指導する。

＜安井准教授＞ 漆造形の可能性と乾漆技法を主とする素材に関して実技的に指導する。

＜笹井講師＞ 髹漆の面での造形性と技法に関して実技的に指導する。

教科 No.	3P12	授業科目	領域研究演習 (染織)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	内藤　ひろい　三橋　藤野　日下部						

【授業概要】

染織領域における素材と技法をふまえた創作とその理論を研究する。伝統的な染織制作の研究を踏まえ、新たな技法の開発に関する研究及び広く繊維を用いた表現理論の研究を行い、現代的な染織作品の創作を行う。

【担当教員と分担内容】

＜内藤教授＞ 染織技法全般に関する創作の理論と実技を指導するとともに、特に型染による創作に関して実技的に指導する。

＜ひろい教授＞ 繊維素材と織や編による創作に関して実技的に指導する。

＜三橋教授＞ 蝋染に基盤を置いた創作に関して実技的に指導する。

＜藤野准教授＞ 織の技法を用いた創作に関して実技的に指導する。

＜日下部准教授＞ 型染に基盤を置いた創作に関して実技的に指導する。

教科 No.	3P13	授業科目	領域研究演習 (産業工芸・意匠)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	内藤　山中　叶　小山　塚田　辰巳						

【授業概要】

地域特有の産業活動にふさわしい形態デザイン、装飾デザインの実技と理論を研究する。伝統的な工芸意匠、加飾などデザインの研究とその応用化、産業化についての検証を行い、京都デザイン、日本的デザインなど工芸意匠の創造的研究を行う。

【担当教員と分担内容】

＜内藤　教授＞ 産業工芸全般にわたる意匠工芸を指導するとともに、特に染織における産業化のための意匠の研究を実技的に指導する。

＜山中　教授＞ 漆芸、特に木工芸における用途性をもった作品研究を指導する。

＜叶　教授＞ 陶磁器における用途性のある作品研究を指導する。

＜小山　教授＞ プロダクト・デザインの観点から伝統産業領域での意匠・デザインの研究を指導する。

＜塚田　教授＞ プロダクト・デザインの観点から伝統産業領域での意匠・デザインの研究を指導する。

＜辰巳　教授＞ビジュアル・デザインの観点から伝統産業領域での意匠・デザインの研究を指導する。

教科 No.	3P14	授業科目	領域研究演習 (芸術学)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	潮江　渡辺員　定金　伊東　横田　井上　三木　加須屋　吉田　田島　礪波						

【授業概要】

芸術現象を対象とした芸術学の理論的研究、および制作研究を行う。芸術現象を対象とした理論的研究、歴史的研究や芸術環境に関する理論的研究、芸術振興に関する研究及び芸術形態に関する高度な理論研究を行う。

【担当教員と分担内容】

＜潮江教授＞芸術現象の研究のための芸術学方法論的考察及びそれに基づいた西洋の近世・近代美術史の理論的研究を指導する。

＜渡辺員　教授＞ 芸術現象の記号学的理論に基づいた考察及びデザイン・工芸を含む造形活動全般についての理論的研究を指導する。

＜定金　教授＞ インド、中央アジア、中国を中心とした東洋美術史及び比較美術史的視点からの日本美術史の理論的研究を指導する。

＜伊東　教授＞ 中国・日本を中心とする陶磁器工芸史の比較論的、資料研究に基づく工芸史の理論的研究を指導する。

＜横田　教授＞ 美術教育の視点からの芸術の普及、振興の問題の理論的研究を指導する。

＜三木　教授＞ 教育人間学の視点からの美的人間形成論の理論的研究を考察する。

＜井上　准教授＞ 現代美術、とりわけ環境や場所性と関わる造形の理論と制作研究を指導する。

＜加須屋　准教授＞ 美学に基づく芸術文化現象の理論的考察の研究を指導する。

＜吉田　准教授＞ 日本・中国・西洋を中心とする染織工芸史の比較美術史的研究を指導する。

＜田島　准教授＞ 日本絵画史全般の歴史的研究を指導する。

＜礪波　准教授＞ 日本彫刻史全般の歴史的研究を指導する。

教科 No.	3P15	授業科目	領域研究演習 (保存修復)	単位数	2	期間	前期・後期
担当教員	宮本　高林　ひろい　赤松　栗本						

【授業概要】

文化財の保存及び修復の技術とその理論の研究を行う。日本、東洋の絵画を中心に、西洋画、工芸品を含む文化財の模写、復元を含む修復技術の実技的研究を行うとともに、保存修復に関する素材・技法についての科学的研究を行う。

【担当教員と分担内容】

＜宮本教授＞ 保存修復技術に関して全般的な指導を行うとともに、特に日本、東洋の絵画を中心とした修復・復元技術に関して実技的に指導する。

＜高林講師＞ 保存修復に関する素材・技法についての科学的研究を指導する。

＜ひろい教授・赤松教授・栗本准教授＞

保存修復に関する素材・技法の方法を実践的に指導補佐する。

教科 No.	3P16	授業科目	総合制作・理論演習	単位数	1	期間	前期・後期
担当教員	西田　浅野　綾田　小池　川嶋　日影　小島　鶴田　S.Fitzgerald　石原　赤松　渡辺信　法貴　金田　木村 出原　大西　中井　砥綿　高橋悟　中ハシ 松井　中原　小山田 辰巳　滝口　舟越　池上　堀口　藤本 小山　塚田　高井　叶　秋山陽　長谷川　重松　森野　山中　栗本　安井　笹井　内藤　ひろい　三橋　藤野 日下部　潮江　渡辺眞　定金　伊東　横田　井上　三木　加須屋　吉田　田島　礪波　宮本　高林　柏木 田畑　魚住　高橋成　藤原						

【研究指導の概要】

この演習は、学生各自の専門テーマを深化発展させるとともに、領域をこえた交流の場として、制作理論上の新たな展開をうながすことを目的としている。学生は、指導教員や他の一般教員、学生等の前でみずからの研究成果を発表し、自由なディスカッションに参加することとする。博士課程在籍中 (原則として 1 年次後期～ 3 年次) に 2 回の発表をおこなわねばならず、とくに 2 回目は、博士課程カリキュラムの総仕上げとして、学位申請にむけて重要な意味を持つものである。

教科 No.	4P01	授業科目	造形計画論研究	単位数	1	期間	前期
担当教員	西田　浅野　綾田　小池　川嶋　日影　小島　鶴田　S.Fitzgerald　石原　赤松　渡辺信　法貴　金田　木村 出原　大西　中井　砥綿　高橋悟　中ハシ　松井　中原　小山田　辰巳　滝口　舟越　池上　堀口　藤本　小山 塚田　高井　叶　秋山陽　長谷川　重松　森野　山中　栗本　安井　笹井　内藤　ひろい　三橋　藤野 日下部　潮江　渡辺眞　定金　伊東　横田　井上　三木　加須屋　吉田　田島　礪波　宮本　高林　柏木 田畑　魚住　高橋成　藤原						

【講義概要】

博士課程担当教員が自らの研究実践を通じて探求する美術各領域における今日的な諸問題や研究課題を考察・提示し、レクチャー、ディスカッション、ワークショップなどを通じて、個々の研究および相互の知的交流の活性化をめざす。また論文作成技術等、博士課程での研究を進めるにあたっての基礎的事項に関する講義も組み込まれる。

【講義計画】

毎週月曜日に、博士課程担当教員が個人または複数で、以下のような複合的観点から芸術に関わる諸問題を考察･提示し、さまざまな形態で授業を行う。授業進行に応じて日程・内容は変更される場合がある。

・芸術研究のための基礎概念　・理論研究と制作実践
・作品体験とその文脈　・素材と技術への視座
・文化の継承と創造　・変容する社会と芸術の課題
・芸術と環境　・論文作成技術　ほか

第１回　４月 11 日
＊特別講演
建畠哲（学長／美術評論）
担当教員・学生による意見交換など

第２回　４月 18 日
「論文作成について」定金計次（教授／芸術学領域）

第３回　４月 25 日
「制度としての美術」秋山陽（教授／陶磁器領域）

第４回　５月９日
「芸術大学に於ける研究・制作・教育の在り方」高橋悟（准教授／メディアアート領域）

第５回　５月 16 日
「ソーシャル・デザインの視点から」 辰巳明久（教授／ビジュアルデザイン・産業工芸意匠領域）

第６回　５月 23 日
「素材から、皮膚から」ひろいのぶこ（教授／染織領域）

第７回　５月 30 日
「宇宙庭研究と JAXA と京都芸大の共同研究」松井紫朗（准教授／彫刻領域）

第８回　６月６日
「環境のデザイン」堀口豊太（教授／環境デザイン領域）

第９回　６月 13 日
「東アジア仏教文化圏における日本の仏像の独自性とその展開」
礪波恵昭（准教授／芸術学領域）

第１０回
６月 20 日
「絵画の見え方」綾田勝義（教授／日本画領域）

第１１回
６月 27 日
「日本絵画史を題材に文章をまとめる」田島達也（准教授／芸術学領域）

【評価】

講義中の討論、各授業後提出させる研究レポート等に基づいて評価する。